

(特非) 森は海の恋人

ニホンウナギの回帰を目指した 震災湿地の順応的管理

ひろげる助成

2年目

実践

生物調査 8回

体験学習の受入れ 752人

今年度計画の達成度 90%

目標達成度 60%



課題

日本の沿岸域では森と海を行き来するニホンウナギ等の魚類が激減しており、津波防潮堤等の整備が環境の劣化に拍車をかけているため、沿岸水産業が衰退する恐れがある。

目標

津波で破壊された気仙沼市舞根地区において、民・学・官の協働により塩性湿地を再生し、ニホンウナギの生息環境を作り出す。このモデルケースを全国に発信する。



今後の
展望

湿地の環境が劇的に変化してゆくので、生物に関する科学的データ、ドローン等による映像を丹念に蓄積し、さまざまな広報資料（パンフレット、論文等）を作成してゆく。環境保全活動と調査活動の連携の大切さを周知する。

活動内容と成果

- 生物環境調査を年6回実施し、新種のスジエビを発見した
- 森は海の恋人体験学習として752人受け入れ、全国各地で講演会を42回行い、出前授業を900人に行った。ニホンウナギ回復のためには汽水域環境の再生が重要という認識を広めた
- 当初要望の西舞根川の河川護岸開削だけでなく、上流護岸の開削による淡水導入、東舞根川の護岸開削も行うこととなり、総合的な河川・湿地保全計画を立案できた。2019年3月から工事が開始された
- 気仙沼市役所との連携が大幅に強化された



発見された新種のスジエビ

苦勞した点と工夫した点

●苦勞した点

スタッフ数が限られている中で、取材・視察・体験学習の申し入れが増え続けている点

●工夫した点

ドローンにより映像・写真を毎月撮影し、各種講演会や説明資料として活用することで、森川里海の繋がりを分かりやすく伝えた。

| 活動地域 |  宮城県気仙沼市

〒988-0527
宮城県気仙沼市唐桑町西舞根133-1
電話：0226-31-2751
E-mail：info@mori-umi.org
http://www.mori-umi.org/

